

「教育大綱かけがわ」に関するパブリックコメントについて

1 実施期間

平成28年2月15日(月)～平成28年3月15日(火)

2 意見数(意見提出者数)

29件 (8人)

3 意見の内訳

	意見数
大綱全体	4件
1. 趣旨	3件
2. 目指す姿	1件
3. 基本方針	7件
4. 未来プロジェクト	5件
5. 用語解説	2件
その他	7件
合計	29件

4 意見の概要と市の考え方

No.	項目	意見概要	市の考え方(案)
1	大綱全体	「掛川市総合計画」の教育・文化との関わりはどうか。	「掛川市総合計画」は市の最上位計画として位置づけています。教育大綱は、総合計画の戦略目標である「教育・文化日本一」を目指すための施策の方向性を示すものと位置づけています。 総合計画と大綱の関係を明らかにするため、最終ページの参考資料に教育大綱の位置づけを図示しました。
2	大綱全体	「人づくり構想かけがわ」「教育の日」「中学校区学園化構想」「お茶の間宣言」などとの関わりはどうか。	「教育大綱」は、教育に関する施策の方針を定めますので、各施策や事業は、大綱に基づく個別計画において具体化されます。
3	大綱全体	市民が理解し、実行できるような啓発をお願いしたい。	大綱策定については、広報やホームページでの紹介を予定しています。
4	大綱全体	「グローバル」「創造性」「変化」など経済を中心に、できる子を対象とした内容が述べられていると感じる。子どもたち一人ひとりのあらゆる可能性を引き出し、最適なものを最大限伸ばし、発揮し、社会に繋がり貢献するよう導くことも必要。	ご意見のとおり、教育施策においても、社会的包摂や多様性の視点は欠かせません。目指す姿や基本方針など、教育大綱全体をとおして、すべての子どもたちが対象となることを想定した内容としています。 学びの場や活躍の場は多様にあり、そのためには、様々な分野の能力がありうることを前提に、目指す姿や基本方針を定めています。
5	趣旨	子どもをはぐくんでいくのは「大人」だけではない。「すべての人から学ぶ」という文言を入れたい。	もっともなご意見ですが、該当部分は、子どものために「大人」が何をできるか考える趣旨として記載しているため、案のままいたします。

No.	項目	意見概要	市の考え方(案)
6	趣旨	「子どもたちの未来のために」ではなく、「掛川市の未来のために」。掛川市の未来のために、子どもたちの教育を考えていく。子どもたちの未来に掛川を託す。そのために、どういう人材に育てて欲しい、どういう教育が必要、ということ。	ご意見のとおり、掛川市の未来を考えた結果、今、すべきこととして、子どもたちの未来のために、何ができるか、何をすべきか、を中心に考えることとし、そのための教育大綱という点を明確にするために「子どもたちの未来のために」というテーマを掲げています。
7	趣旨	大人に対して、子どもを育てるという視点で述べられているが、それだけでよいか。 市民一人ひとりが自己の可能性を最大限に発揮し、幸せに暮らす社会が必要で有り、大人の教育についても盛り込むべき。	ご意見のとおり、大人の教育も重要です。教育大綱では、子どもを中心に据えながら、そのために大人がすべきこととして、生涯学び続け、充実した人生を送ることを掲げています。 基本方針や未来プロジェクトの内容は、施策の方向性を示していますが、対象を子どもに限定していません。具体的な施策や事業では、この方向に即して大人を対象とする内容も含まれます。
8	目指す姿	子どもたちの未来のためのあるべき姿として賛成。	賛同いただき、嬉しく思います。
9	基本方針	子どもたちの未来のための考え方として賛成。	賛同いただき、嬉しく思います。
10	基本方針	これでよい。	賛同いただき、嬉しく思います。
11	基本方針	「1こころざしと学ぶ意欲を育てる人づくり」の説明文中「こころざしを持って学ぶ意欲を持ち続け、」の後に「主体的に問題を解決する能力を身に付け、」を加えたい。 「意欲」だけでなく、能力も合わせ持たねば活躍できないし、「目指す姿」の「生き抜く力」を受けるものであり、「自律する心」を含んだもの。	もっともなご意見ですので、ご指摘のとおり修正いたします。
12	基本方針	1の説明文中の「しくみづくり」とは具体的に何か。	大綱の方針に即し、個別計画で示されます。例えば、「ひとづくり構想かけがわ」の中の少人数指導体制や体験学習、外国語活動などが挙げられます。
13	基本方針	1の説明文中の「コミュニケーション力」を高める方法論が欲しい。	
14	基本方針	2の題名は「学びの環境」となっているが、本文に「環境」という語がないので、1行目か4行目の「学びの場」を「学びの環境」に修正する。	ご指摘のとおり修正いたします。
15	基本方針	人づくり、環境づくり、まちづくりに関わる人たちがしっかり勉強することが必要。	もっともなご意見です。基本方針1は、ご意見の内容を含めた人づくりを想定しています。

No.	項目	意見概要	市の考え方(案)
16	未来プロジェクト	少子化対策はあるが子どもの数は急激に減少し1学年1学級の学校も少なくない。このままでは園学校の統廃合を考えなければならない状況。 少子化に対する幼児・学童に対する「根本的な教育のあり方」を加えるべき。「人づくり構想かけがわ」には幼児・学校・社会教育について記載されており、大綱との関連づけのためにも追加すべき。	ご指摘のとおり、少子化は大きな問題であり、教育分野でも検討すべき課題のひとつです。 教育大綱では、子どもたちの未来のために取り組むべき施策の方向性を掲げていますので、具体的な内容に言及していませんが、プロジェクトについても少子化に起因する課題への対応を想定した内容となっています。 また、「人づくり構想かけがわ」や「子ども・子育て支援事業計画」等の個別計画は、教育大綱の方針に即した内容で策定する位置づけとなっています。その点を分かりやすくするため、最終ページの参考資料に教育大綱の位置づけを図示しました。
17	未来プロジェクト	「中学校区子ども育成支援協議会」「地域社会福祉協議会」「各地区センター」「まちづくり協議会」等、各組織があり、推進している内容に共通・重複するものが多い。いずれも基本は自治会単位で、市民が役員を兼務している状況。 プロジェクトの中で、今後の協議会等の方向付けや立ち位置等について検討して欲しい。	未来プロジェクトでは、子どもたちの未来ために、この10年間で重点的に実施していくべく、具体的な事業の方向性を示したいと考えております。 したがって、事業の推進主体などの具体的な内容は示していません。ご指摘の内容は、プロジェクト推進の際の検討事項と考えています。 なお、「中学校区子ども育成支援協議会」と「まちづくり協議会」については、No.25で整理していますのでご参照ください。
18	未来プロジェクト	具体的な計画を立ててプロジェクトを推進する場合、市民、特に母親の意見を求めて欲しい。	ご意見として承ります。 掛川市自治基本条例に規定する協働によるまちづくりの基本理念や基本原則に則り、市民からの意見聴取を推進しています。
19	未来プロジェクト	説明文の始まりが「子どもたちの未来のために」だが、「掛川市の未来のために」ではないか。	子どもを中心に据えるという大綱全体の趣旨を踏まえ、「子どもたちの未来のために」としています。
20	未来プロジェクト	家庭や家庭教育について、親の教育を記載すべき。	未来プロジェクト「3温かく安らぎのある家庭を育むプロジェクト」に「総合的な家庭教育支援体制の構築」について記載しています。大綱の中で、具体的な内容まで言及はしていませんが、親の教育も含んだ支援を想定しており、この方針を受けた個別計画では親支援、親の教育に関する事項も掲載されています。
21	用語解説	「かけがわ型スキル」のところで「21世紀型スキル(国際団体・・・)」は、「21世紀型スキル(国際団体・・・)」とした方がよい。	ご指摘のとおり修正いたします。
22	用語解説	「生涯お達人市民」の先頭「健康で・・・」はの文頭を1字下げる。	ご指摘のとおり修正いたします。
23	その他	「かけがわ教育の日」ではなく「かけがわ教育週間」とした方がよい。	ご意見として承ります。
24	その他	プロジェクトに参加している人や団体にやりがいを持ってもらうため、表彰や広報への掲載を検討してはどうか。	ご意見として承ります。

No.	項目	意見概要	市の考え方(案)
25	その他	「まちづくり協議会」は地域内の各種団体が含まれているため、学園化構想の組織をまちづくり協議会に包含してはどうか。	子どもの育成を2つの視点で捉えています。個々の子どもの教育の視点で捉えると、保幼小中一貫した教育がベストと思われますが、地域で子どもを育む視点で捉えると、中学校区域では範囲が広く、歴史、文化、住宅・交通・家庭事情、関心事などの事情が異なることが多いため、より狭い小学校区で考える方が望ましいと考えます。したがって、個々の教育を考える場合は、学園化構想の「支援協議会」。地域で育むことを考える場合は、「まちづくり協議会」ごとに考えたうえで、「支援協議会」に持ち寄り全体として適切な方向性を見出す。このように「支援協議会」と「まちづくり協議会」の立ち位置を考えています。
26	その他	支援協議会のコーディネーターの活動を無償ボランティアとすべき。無償ボランティア活動により地域に関わる永続した組織となるのではないか。	子ども育成支援協議会の運営資金は、学校支援地域本部事業として国からの補助金をいただいております。ご意見のとおり、無償で活動していただくことが理想ですが、当面は補助金をいただき事業を行っていく方針のため、地域コーディネーターへの謝金が発生していくこととなりますのでご了承願います。
27	その他	現役時代に各教育機関で活躍していたが、リタイア後、家庭に引きほとんど社会に出ていない人が多い。まち協の中で、補助教員や民間施設の活用による待機児童対策、乳幼児サポートなどに活用してはどうか。	ご意見のとおり、「市民総ぐるみの人づくり」を推進するためには、様々な場面で活躍する人材が欠かせません。大綱は方針のみを示すものとしており、具体的な人材確保の手法まで記載していませんが、個別の事業実施においては、有効な手法と考えます。
28	その他	掛川市内にある高校生への意識付けが必要。	ご意見として承ります。
29	その他	掛川の子どもたちが「ちゃんと働いて税金を納める大人になる」教育を目指して欲しい。	ご意見として承ります。大綱に沿った教育施策の展開により、そういった大人に育っていくと考えます。